

# イルカ通信

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA)

2009年8月1日 No. 031

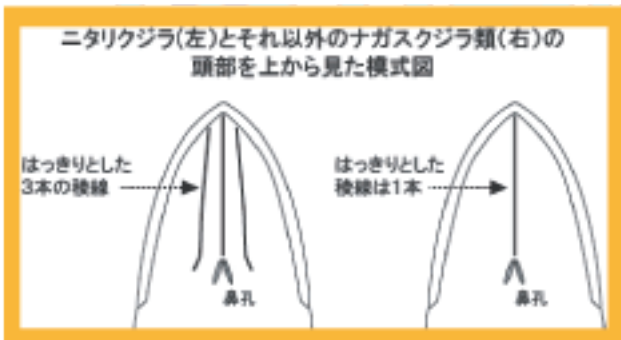
隔月1回発行  
バックナンバーは無料でダウンロードできます  
(下記参照)

## 「笑うニタリ? 似るニタリ?」

皆さんも良くご存じのように、小笠原でウォッチングの対象となっている主な鯨類はミナミハンドウイルカ、ハシナガイルカ、ザトウクジラ、マッコウクジラの4種類です。一方、小笠原海域で目撃記録のある鯨類は約20種類。地球上には約80種類の鯨類が生息していると考えられているので、その四分の一が小笠原で目撃されていることとなります。

さて、前述の4種に比べると圧倒的に少ない頻度ながらも、ニタリクジラという種類が沖合で目撃されることがあります。あたかもニタリと笑っているかのように見えるのが和名の由来、・・・と聞くと何だかそれっぽく聞こえますが、そうではありません。ニタリクジラを漢字で書くと“似鯨”。イワシクジラと混同されていたり、ナガスクジラとも似ている、という事で“似たりクジラ”→“ニタリクジラ”という和名になったそう。高知県土佐ではカツオと泳ぐ姿が良く見られることから、カツオクジラとも呼ばれていたそうです。また、過去に小笠原近海に生息するニタリクジラをオガサワラクジラと命名する案があったそうですが、(小笠原にとっては残念なことに) 定着には至らなかったようです。

ニタリクジラの大きな特徴は頭部にある3本の稜線(下図参照)。ニタリクジラ以外のナガスクジラ類の頭部には、はっきりした稜線が1本しかありません。ニタリクジラを見たり写真に撮られたりしたら是非OWAまでご連絡下さい。分布や生態を解明するための貴重なデータとなります。もちろんニタリクジラでなくとも、正体不明の鯨類でも何でも大歓迎です。



## 「クジラとイルカは何が違う?」

よく「クジラとイルカの違いは?」という質問を受けます。クジラもイルカも哺乳類のクジラ目に属する同じ仲間、成体が体長4m以上をクジラ、4m以下をイルカと呼んでいるにすぎません。でも、実は大きさの判断にも矛盾があります。小笠原で観察されたことのあるゴンドウクジラ類を例にとってそれを見てみましょう。

小笠原ではオキゴンドウ False Killer Whale (約5.4m)、コビレゴンドウ Short-fined Pilot Whale (約6.5m)、カズハゴンドウ Melon-headed whale (約2.5m)、ユメゴンドウ Pygmy killer whale (約2.3m) そしてハナゴンドウ Risso's dolphin (約3.3m) の5種類の生息が確認されています。英名で見る限りハナゴンドウだけがイルカとなっています。一方、体長で見るとハナゴンドウだけでなく、カズハゴンドウやユメゴンドウもイルカになってしまいました。もうすでに4mという判断基準は崩れていますね。

このようにクジラとイルカの定義は非常に曖昧です。これらゴンドウクジラ類は果たしてクジラかイルカか? それは皆さんが海で出会った時に、皆さんの目で確かめてみてください。

( )内の数値はオスの成熟個体の平均的な体長。  
※参考図書 クジラ・イルカ大図鑑、平凡社

2009年6月29日のイルカ個体識別調査でこんな特長のあるイルカに会いました★

左目の上にキレいな星型の白い縞のあるイルカ



258番のワンスター★

## 日焼け対策を忘れないでね!

楽しいドルフィンスイムに夢中!  
でも、こまめに目焼け止めクリームを塗ってね。  
イルカや海にやさしい肌ケアのものがgood!



フッシュガードを1枚持っていると日焼け防止、  
クラゲや毒さから守ってくれますよ。

小笠原ホエールウォッチング協会  
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>  
Tel 04998-2-3215 e-mail [owa@h6.dion.ne.jp](mailto:owa@h6.dion.ne.jp)

イルカ通信はOWAのホームページ (<http://www.ogasawara.or.jp/owa>) もしくは (<http://www.h2.dion.ne.jp/~owa/nukatsushin/nukatsushin.html>) からダウンロードできます (無料)